

下半期に向けて

株式会社京二
執行役員
ゆ しん けつ
愈 箴 潔



2016年は半分過ぎている。中国国内経済は周知通り下振れが継続している中、製造業が大変苦しんでいる中、自動車部品製造業が健闘ぶりを見せている。国内日系自動車部品メーカーは積極的に設備投資し、生産拡大によるシェア拡大を狙う。京二上海に対する工具供給ニーズが益々増えている。

仕上げ用特殊工具の再研磨、新品製造は容易ではない。日本では数十年で工具メーカーと開発した製品が数か月の間で中国ローカルメーカーと試作、テスト、量産実現を要求されている。2016年年始からの円高傾向による日本からの輸入品価格が月々高騰し、高精度製品の現地調達の実現による消耗品コスト大幅減少が実現。

輸出向け工具類について従来の量産品と共に、大手自動車メーカー、トラックメーカー向けCBN工具、特殊品工具のテストが多くなっている。焼入れ鋼材分野での歯車、車軸の内径外径、端面仕上げ用CBN標準インサートがよく使用されている。様々な加工状況に合わせた刃先設計、材料

選択によるカスタマイズ的な工具設計が大変好評であり、使用済また使用途中工具の摩耗状況を見て使用状況の判断、報告などの細かいサービスも行うなど、日本の工具メーカーのサービスとの差が縮小しておりさらなる競争力向上に努める。

京二上海法人社内で日本のお客様へのサービス向上活動を絶えずに行っている。中国PJの営業担当が外回りが多く、上海の輸出担当社員がエンドユーザーの現場担当者の状況を把握、図面発行や納期回答による直接業務連絡できるようになっている。従来のように日本営業担当から情報が来るまで待っているよりも大幅に効率アップされている。営業担当と連携プレーによるお客様サービス向上、スピードアップを狙う。単独工程用製品を提案すること以外に、後工程のバリ取り工具の開発も試みしている。

下半期ではテスト品結果の収集による量産切り替え、現地工具の安定供給による業績向上を狙いたい。社員の最大な能力を引き出し、中国プロジェクトと共にお客様サービス向上に貢献したい。

研削加工のコストダウンをご提案します!

SAILIホイール



- 中国No.1砥石の総合メーカーで多くの日系企業で採用されています
- 日本・米国製ボンドを採用、ビトリファイド・レジン・メタル・ハブリッド各種ボンドでの製造が可能
- 工具研削用砥石は日本国内でも多くの実績があります